

## 地震対策

### 改良住宅の耐震強度は

ブロック構造は方法なし

／まちづくり課長



むらこしひさお 議員

答

浜田まちづくり課長

黒潮町の改良住宅は162戸あり、内22戸が鉄筋コンクリート構造、140戸がコンクリートブロック構造となっている。

問

入野地区、佐賀地区の改良住宅の耐震診断状況とその結果はどのようになっているか。

入居者の生命、命を守るためにも早急な対応が必要と思うが、これまでの経緯を踏まえ、地元との話し合いはもたれているか。

どのような方向性があるのか行政として何らかの取り組みはしているか。

鉄筋コンクリート構造は耐震性が確保されている。コンクリートブロック構造については、入野地区では平成19年3月に設計業者に委託し、公営住宅改良住宅3軒について耐震診断を実施し、3軒とも耐震性がないという結果となっている。

佐賀地区は耐震診断はしてないが、同じブロック構造であることから、耐震性がないものと推測される。

ブロック構造においては有効な耐震補強方法がなく、県に問い合わせても用途改修、

もしくは、用途改修を行ったうえで払い下げを行うか、建て替えをするしかないという回答であった。

これを受け、入野地区については、耐震診断の結果をもって地区内の人に対して説明会を開いた。

両地区の関係者に集まっていただき、検討委員会を開催し、住民、関係者の意見を吸い上げ、方向性を見いだしていきたいと思っている。

答

大西町長

谷口海洋森林課長

ようになっているか。  
漁業集落整備の補助事業を適用し、整備していく必要があるのではないか。

漁業集落整備事業、通称漁集事業というのが、これは道路整備、雨水汚水排水処理、防火水槽、避難誘導灯等いろいろな事業ができることになっている。

佐賀地区では平成12年度から実施し、今後も道路整備や防火水槽、そして避難経路等を整備し、平成26年度に終了する予定である。

これまで、下排水処理施設は町内の3地区で実施したが、その施設が財政を圧迫するような事態を招いたことで、今後は集合処理施設はつくらずに、合併処理浄化層の個別処理方法でいく方針である。

それ以外で考えると、両地区の道路状況などは大変悪く

危険な箇所が多々あるとは承知しているが、旧大方町に行った道路計画によると、家屋の移転補償先の用地の確保が難しい等の理由で計画を断念した経緯がある。

このたび黒潮町全域が過疎地域に指定されたので、漁集事業に限らず過疎対策での事業実施も可能と思われるので、地区の要望について、地区と一体となって進めていく必要があると考えている。

生活環境の整備については、町としても懸案事項となっております。各地区によって、どういう事業を取り入れて実施すれば有利かという事業の選定をして行く必要がある。整備事業は行政の責務であり、有利な事業があれば取り入れ整備をしていきたい。

問

佐賀地区の整備事業は行われているが、整備計画はどの

### 集落整備

### 漁業集落整備事業について

有利な事業があれば取り入れ整備／町長